



# とちり、通信

第61号  
令和元(2019)年  
8月

◆トピックス ー実施した行事、イベントなどをお伝えしますー

## ○新規採用職員の紹介

栃木県立リハビリテーションセンターは、心身に障害のある県民の自立と社会参加の促進を図るため、職員全員がこの目標に向かって取り組んでいます。今回は、今年度新規採用職員となった職員からのメッセージを紹介します。



総務課3名、財務課1名、医事課2名の計6名が配属となりました。

管理部では、労務管理や経理、診療報酬の請求をはじめ、当センターの運営に必要な業務を行っています。

皆様にとって、より身近に感じられるようなセンターになるよう努力していきますので、よろしくお願いします。

## リハビリテーション部



理学療法士 (PT) 8名・作業療法士 (OT) 8名・言語聴覚士 (ST) 2名が入職しました。

新社会人や、心機一転、新天地を求めてきた人など、個性豊かな仲間たちです。

自身の個性や経験を活かし、患者さんが楽しくリハビリに取り組めるよう日々精進しています。総勢84名のスタッフで、患者さんと共に成長していける部を目指しています。



とちりハで、精一杯  
頑張ります



患者さんの個性を大  
切にします



笑顔を大切に頑張り  
ます



日々の学びを積み重  
ねていきます



確実に仕事がこなせ  
るよう頑張ります

## 看護部

よろしくお願いします



一生懸命頑張りたい  
と思います



日々勉強し一生懸命  
頑張ります



患者さんのために頑  
張ります



フレッシュさを忘れ  
ず頑張ります



日々新しいことが学  
べています



## 施設部

施設部では、保育士4名、心理職1名、生  
活支援員3名が「こども発達支援センター」  
「こども療育センター」「障害者自立訓練セ  
ンター（駒生園）」に配属されました。  
笑顔を忘れず、一日一日を大切に、日々た  
くさんの事を吸収していきたいと思いま  
す。頑張りますので、よろしくお願いします。



### ○春の親子遠足に行ってきました

新緑の5月、お天気にも恵まれこども発達支援センターのぱんだ組、こあら組、うさぎ組、ひよこ組のクラスの親子64名が蓼沼親水公園に遠足に行きました。

バスに乗って「しゅっぱーつ！」バスの中では次々に変わる景色を眺めながら、歌ったり手遊びをして過ごしました。公園に着き、早速水着に着替えて川の中へ。ちょっぴり冷たかったけれど、ジョウロで水をすくったり、葉っぱを流したり、楽しみました。また、アスレチックでは、大きな滑り台にも挑戦しました！



きりんさん、どーぞ！



水遊び楽しいね♪

そして沢山遊んだ後は、待ちに待ったお弁当。お外でお友達と食べるお弁当は、とっても美味しくここに笑顔があふれました。

一方、きりん組、りす組の親子20名は宇都宮動物園に行きました。おさるさんやぞうさんなど沢山の動物を見て、きりんさんにはごはんをあげました。汽車にも乗って、とても素敵な思い出を作ることができた春の遠足でした。



## ◆診療部より ～新任医師の紹介～

4月から当センターに勤務した3名の医師からの自己紹介です。

### 小児科 宮内 彰彦医師

私は初期研修から自治医科大学に所属し、同小児科での臨床業務と併行して大学院での研究期間を経て、この春から栃木県立リハビリテーションセンターで勤務させて頂くこととなりました。

小児科の中では、発達やてんかん、代謝性疾患などの小児神経領域を主な専門として、日々臨床業務に従事しています。当センターで多くみられる疾患としては、発達障害・行動異常では自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症(ADHD)、限局性学習症、他にも脳性麻痺などの小児の運動障害や小児てんかんの治療、神経筋疾患や代謝性疾患などでリハビリテーションを必要とされる場合など、ニーズに合わせてご利用頂いています。また、併設されている施設では、日中一時支援や短期入所、医療・福祉型の通園も行っております。必要に応じて院内の整形外科やリハビリテーションの専門医など協力体制も整っています。

小児科は様々な分野を含む中での診療であるため、単に疾患の治療だけではなく、患者さんとそのご家族が抱える多面的な問題を、当センターのスタッフや地域・学校との協力関係の中で解決・軽減するよう努めていければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 神経内科 近藤 総一医師

はじめまして。もしくは一部の方にはお久しぶりです。栃木県立リハビリテーションセンター神経内科の近藤 総一と申します。

研修医から約6年栃木県でお世話になった後、故郷の愛媛県で神経内科医として5年間勤務し、この度はリハビリテーション専門医取得のため栃木へ戻って参りました。

現時点では総合内科専門医、神経内科専門医を取得しています。これまでは急性期対応を主として勤務していたため、回復期では勝手が違って戸惑うこともありますが、栃木県の脳血管障害リハビリテーションや、神経難病対応に少しでも貢献できればと考えております。特にパーキンソン症候群はリハビリテーションが治療の重要な柱になるため、今後どのように日常診療に取り入れていけるか検討しております。

一方でそれらにとどまらず、特に高齢者の転倒・外傷等に対する予防医学的な対応など、地域で必要と考えつつも、急性期病院で対応するのが難しかった問題に関わることができるようになりたいと思います。

最近では心血管・神経超音波検査等にも興味があり、実施しております。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 整形外科 林 志賢医師

初めまして、整形外科の林志賢(ゆきのり)と申します。このたび前任の金谷裕司先生の後任で赴任しました。出身は宮城県ですが、大学は東京で、研修で栃木にやってきましたそのまま栃木に居着いています。

趣味で自転車をやっていますので、ジャパンカップを始めとして大小様々な自転車レースが行われる栃木県は、自転車好きにとっては聖地みたいなものです。休日は、天気の良い日にたんぼ道をのんびり長く走るのが好きです。栃木県は故郷の宮城県と同じく緑が豊富で、平地も山もあるので自転車で走りやすいです。

今までは外傷や人工関節をたくさんやる病院ばかりにいましたが、リハビリテーションを中心とした病院は初めてです。自分が経験してきた手術などの知識を生かして、患者さんのリハビリテーションにフィードバックしたいと思います。小児整形も経験が浅いので、自治小児整形の先輩方に積極的に習い、外来診療に生かしたいと思います。子供が好きなので、リハビリで頑張っている子供たちをみると元気をもらえます。

まだまだ未熟者ですが、経験値を高めて精進し、地域のリハビリテーション医療に貢献できるように精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

## インフォメーション

### ○障害者自立訓練センター（駒生園）におけるグループ訓練の紹介

障害者自立訓練センター（駒生園）では、センター退所後の利用者の自立した生活を見据え、健康づくりや支援機関との繋がり形成等を目的として、月1回（第3木曜日）、内外より講師を招きグループ訓練を行っています。利用者の皆さんが抱えている問題点は多種多様に渡りますが、全員が一つのテーマについて学び、考える時間を設けることは貴重な経験になります。

本年度も5月23日（木）に「ストレッチの効果」というテーマにて第1回目のグループ訓練を行いました。ストレッチは筋肉を良好な状態にするだけでなく、心身のコンディション調整にも効果があることから有意義な時間を共有することができました。

#### 【グループ訓練の予定】

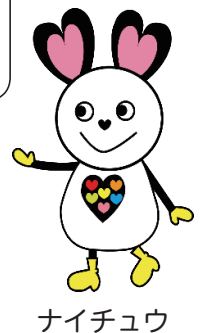
第2回	6月20日	栄養（塩分）について
第3回	7月18日	ストレスと上手に付き合おう
第4回	8月22日	障害者サービスの制度について
第5回	9月19日	高次脳機能障害について（家族教室）
第6回	10月17日	障害者スポーツについて
第7回	11月21日	障害者年金について
第8回	12月19日	就労について
第9回	1月24日	事例紹介
第10回	2月21日	補装具について

### ○職員採用案内

当センターでは、以下の職種の職員を募集しております。

- \*医師
- \*看護師
- \*薬剤師
- \*療法士（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）
- \*保育士
- \*一般事務
- \*福祉（介護）職

詳細は、当センターホームページの採用募集情報（<https://tochigi-riha.jp/category/recruit/>）をご覧ください！



### 編集後記

本格的な夏を迎えましたね。暑い毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回のとちりハ通信は、令和元年度初の発行となります。時代は変わりましたが、引き続き皆さまに当センターの様々な情報・魅力を発信してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

(発行) 地方独立行政法人  
栃木県立リハビリテーションセンター  
管理部総務課

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1  
TEL 028-623-6101 (代表)  
FAX 028-623-6151  
ホームページ <https://tochigi-riha.jp/>

